

F SPORT PARTS(TRD)

MS313-78001/2/3

リヤディフューザー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)リヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品 番	塗 装 色	適 合 車 種	型 式	年 式	備 考
MS313-78001-A0	ソニックオーツ (085)	NX 200t 全車 NX 300h 全車	AGZ10/15 AYZ10/15	'14.08 ~	
MS313-78001-B2	ソニックタニム (1J7)				
MS313-78001-C0	ブラック (212)				
MS313-78001-A1	ホワイトノヴァガラスレーク (083)				
MS313-78001-C2	グラファイトブラックガラスレーク (223)				
MS313-78002-00	未塗装品 (プライマー処理品)				
MS313-78003	共通品 (212)				

*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着を想定しておりません。
TRDスポーツマフラー以外の同時装着は出来ません。

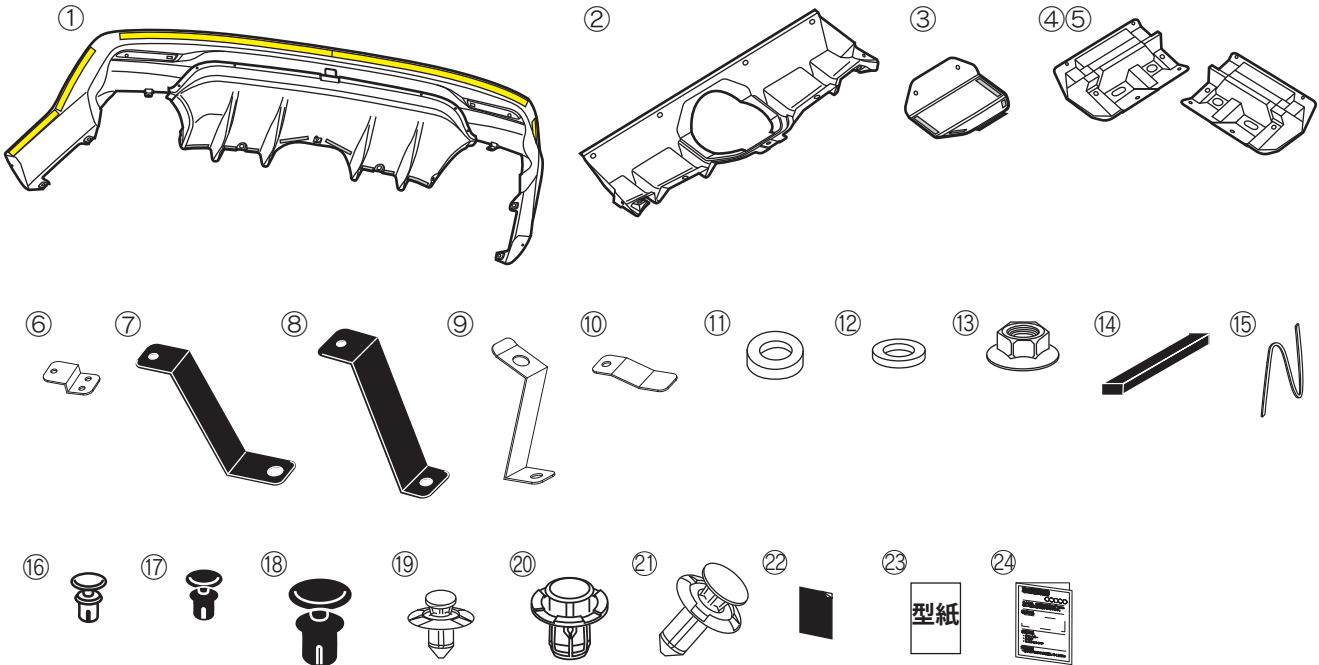
*本製品装着前に純正マフラーを取外し、製品装着後にTRDマフラーを装着してください。

■ 構成部品

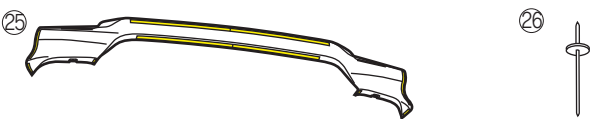
	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	リヤディフューザー		1	
②	アンダーカバー		1	
③	アンダーカバー別ピース		1	
④	アンダーカバーインナーRH		1	
⑤	アンダーカバーインナーLH		1	
⑥	ブラケットA		2	
⑦	ブラケットB		2	黒色 小
⑧	ブラケットC		2	黒色 大
⑨	ブラケットD		1	
⑩	ブラケットE		4	
⑪	樹脂ワッシャー		2	t=6
⑫	ラバーワッシャー		3	t=2
⑬	クリップナット		1	
⑭	クッションA		1	t=10
⑮	クッションB		1	t=2
⑯	プッシュクリップA		4	Φ4 白
⑰	プッシュクリップB		2	Φ4 黒
⑱	クリップA		8	Φ6
⑲	クリップB		12	Φ8
⑳	クリップC		1	Φ10 小
㉑	クリップD		2	Φ10 大
㉒	ブラックアウトフィルム		1	
㉓	型紙		1	A4シール
㉔	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS313-78002-00（未塗装品セット）のみに同梱

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
㉕	別ピース		1	
㉖	リベット		2	黒色



以下、MS313-78002-00（未塗装品セット）のみに同梱



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各タッピングスクリューを十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けて下さい。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、レクサス販売店にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット (MS313-78002-00) は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA※又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 焼付け塗装の際に、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
-  **注意** 車両部品の脱着および車両へのリヤティフューザーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

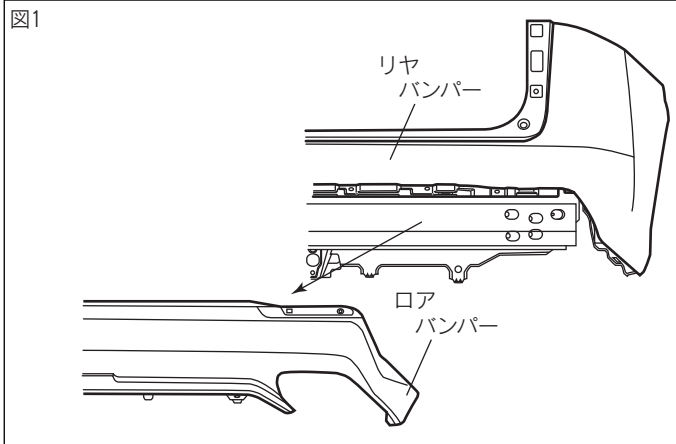
※IPA=イソプロピルアルコール

■本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。(3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

■不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

未塗装品 (MS313-78002-00) は製品装着後、取付取扱い要領書11ページ以降を参照し別ピースを取付けてください。



※本取付取扱い要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

□取付準備

1. サービスマニュアルを参照し、リアバンパーからロアバンパーを取外す。

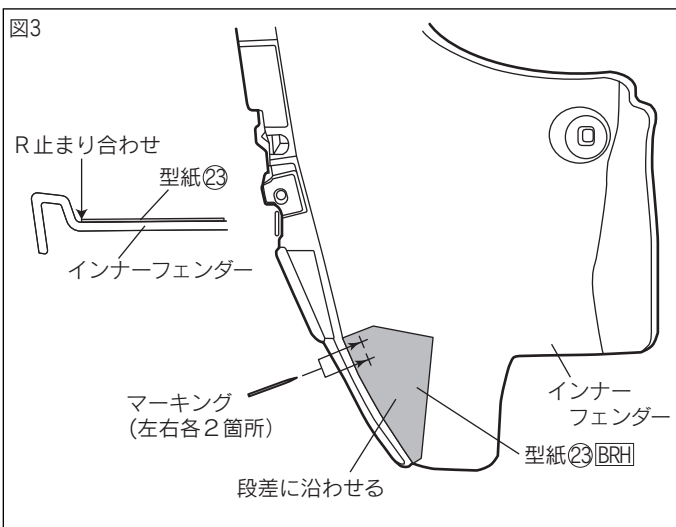
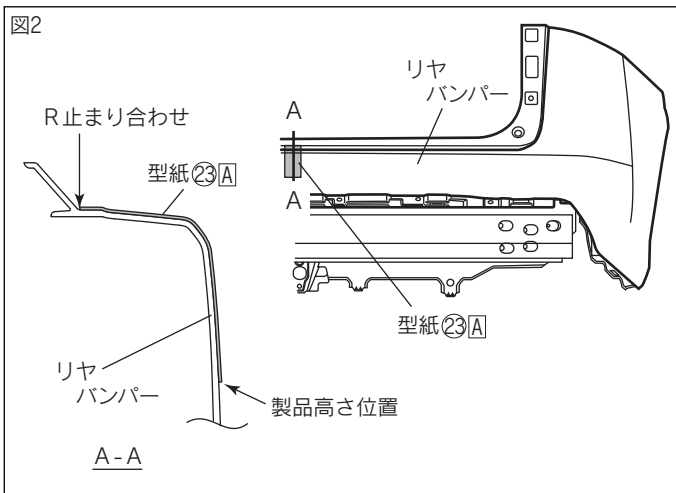
⚠注意：外したクリップ等、ショートパーツは本製品取付け終了まで、保管してください。

2. サービスマニュアルを参照し、ロアバンパーからリフレクターを取外す。
(左右1箇所)

⚠注意：取外したリフレクターは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

3. 型紙②[A]を台紙から剥がし、図2のようにリアバンパーに貼付ける。
(中央1箇所)

⚠注意：型紙がずれている場合は、製品高さ位置がずれていますので貼直してください。

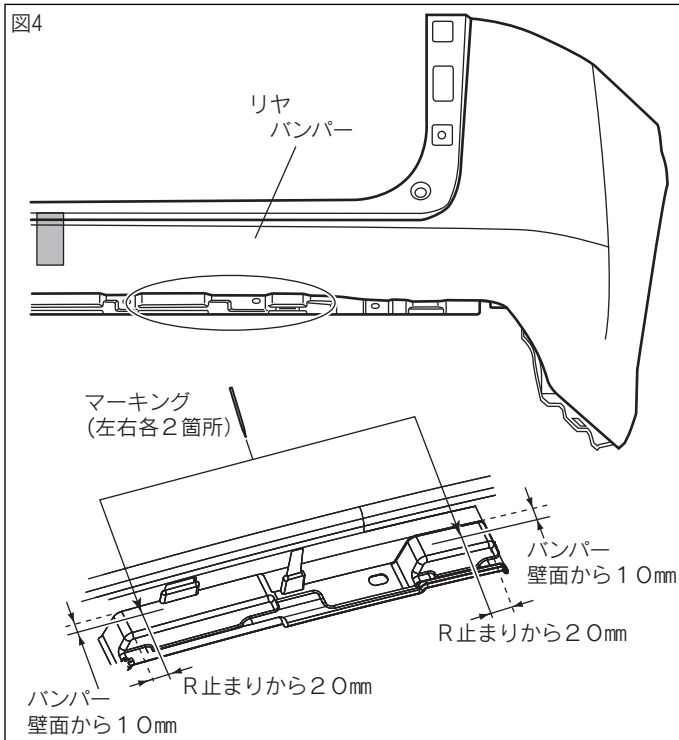


4. 型紙②[BRH][BLH]を台紙から剥がし、図3のようにインナーフェンダーの下部に貼り付け、穴センターをマーキングする。マーキング後型紙②[BRH][BLH]を剥がしてください。
(左右各2箇所)

⚠注意：型紙の末端がずれている場合は、貼付け位置がずれていますので貼直してください。

👉アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、ブラケットA⑥を仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。

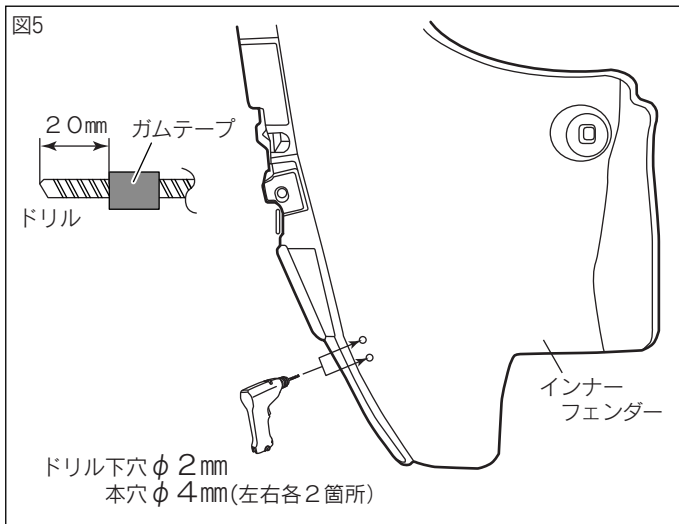
図4



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

5. 図4のようにリアバンパーにブラケットE
⑩取付け用の穴位置をマーキングする。
(左右各2箇所)

図5



6. 図5のようにφ2mm、φ3mm、φ4mm、φ6mm
のドリル先端にストッパーとなるよう20mm
の位置にガムテープを巻き付け、φ2mmのド
リルを使用してインナーフェンダーのマーキ
ング位置に下穴をあける。
(左右各2箇所)

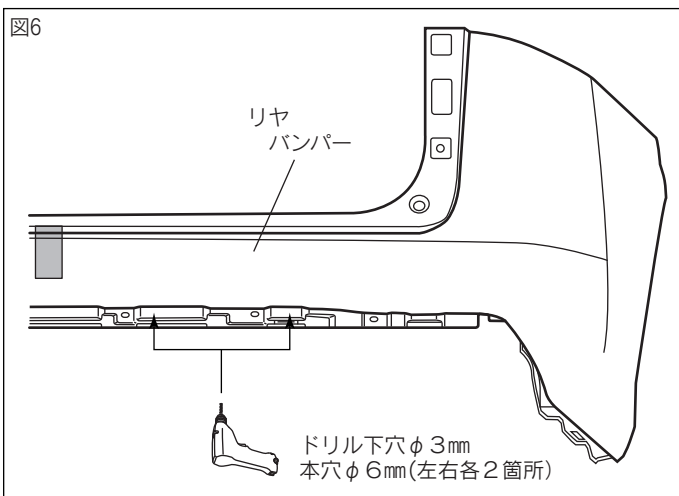
7. 図5のように下穴にφ4mmのドリルでイン
ナーフェンダーに本穴をあけ、穴のバリを
取除く。
(左右各2箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴
あけ面に対して垂直にし、
マーキング位置からズレな
いように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してく
ださい。

△注意：バリを取除く時には、穴径が大き
くならないように注意してヤスリ
等で取除いてください。

図6



8. 図6のようにφ3mmのドリルを使用してリ
ヤバンパーのマーキング位置に下穴をあけ
る。
(左右各2箇所)

9. 図6のように下穴にφ6mmのドリルでリア
バンパーをアンダーカバーと共に本穴をあ
け、穴のバリを取除く。
(左右各2箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴
あけ面に対して垂直にし、
マーキング位置からズレな
いように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してく
ださい。

△注意：バリを取除く時には、穴径が大き
くならないように注意してヤスリ
等で取除いてください。

図7

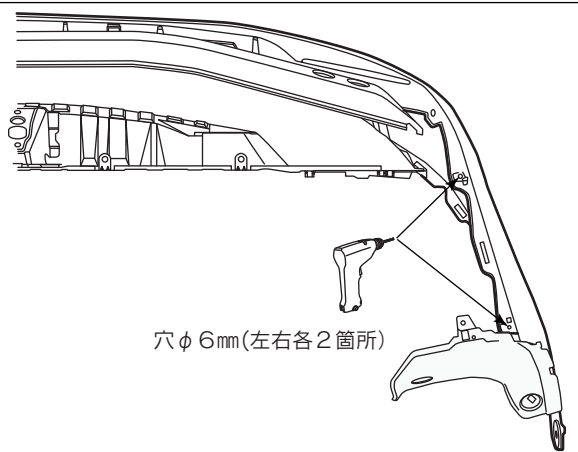


図8

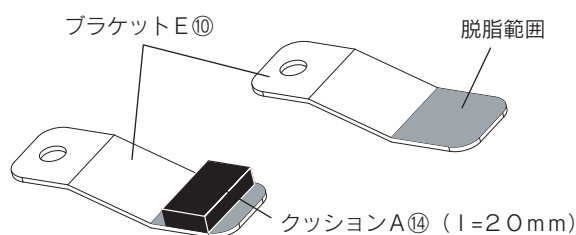


図9

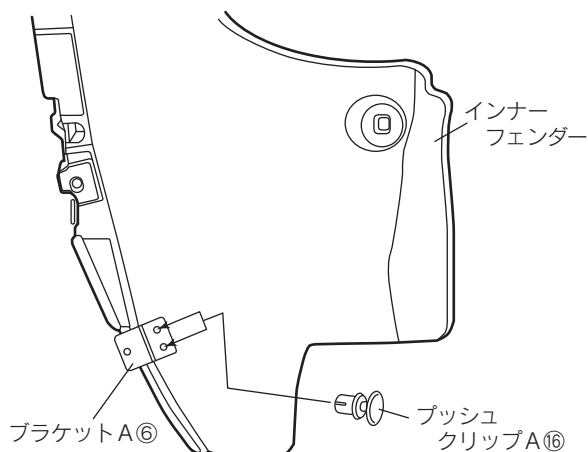
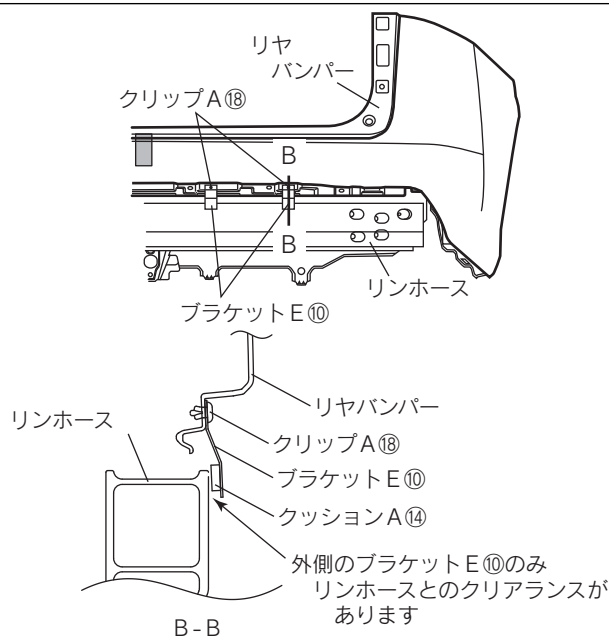


図10



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様になってください。

10. 図7のようにリアバンパーのφ5mm穴にφ6mmのドリルで穴を広げ、穴のバリを取除く。
(左右各2箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

11. 図8のようにブラケットE⑩の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂し、クッションA⑭を20mmにカットして貼付ける。
(計4個)

⚠ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

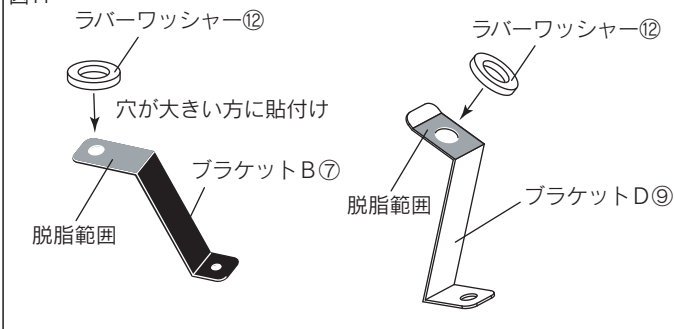
12. 図9のようにインナーフェンダーにブラケットA⑥を合わせプッシュクリップA⑯で固定する。
(左右各2箇所)

⚠ 注意：ブラケット取付け向きに注意して下さい。逆に取付けるとリヤスポイラーが取付かなくなります。

13. 図10のようにリアバンパーにブラケットE⑩を合わせクリップA⑱で固定する。
(左右各2箇所)

⚠ 注意：ブラケット取付け向きに注意して下さい。逆に取付けるとリヤスポイラーが取付かなくなります。

図11



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

14. 図11のようにブラケット B ⑦、ブラケット D ⑨の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、ラバーワッシャー⑫を貼付ける。

(ブラケット B ⑦ 2 個)

(ブラケット D ⑨ 1 個)

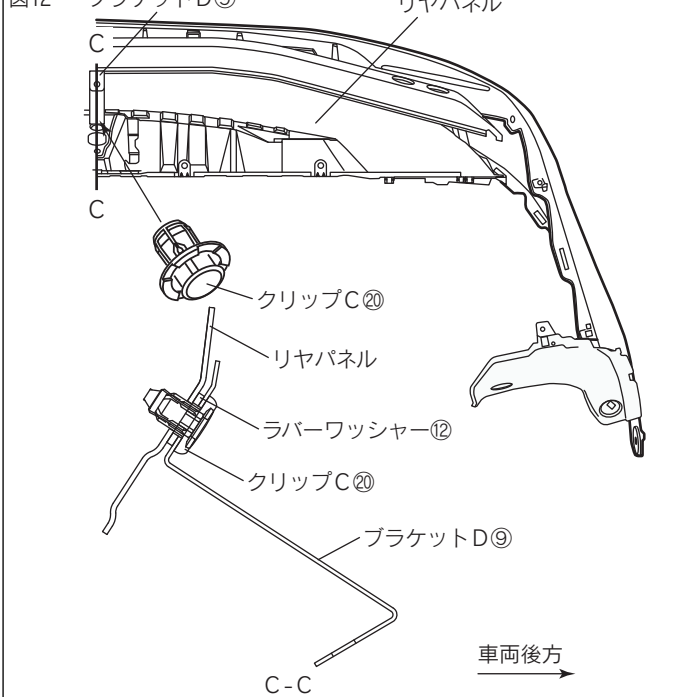
△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

15. 図12のようにリヤパネルにブラケット D ⑨を合わせクリップ C ⑫で固定する。

(センター 1 箇所)

△注意：ブラケット取付け向きに注意して下さい。逆に取付けるとリヤスポイラーが取付かなくなります。

図12



16. 図13のようにリアバンパーにブラケット B ⑦、ブラケット C ⑧の小さい穴側を掛け、クリップ A ⑬で固定する。

(左右各 2 箇所)

△注意：ブラケット取付け向きに注意して下さい。逆に取付けるとリヤスポイラーが取付かなくなります。

図13

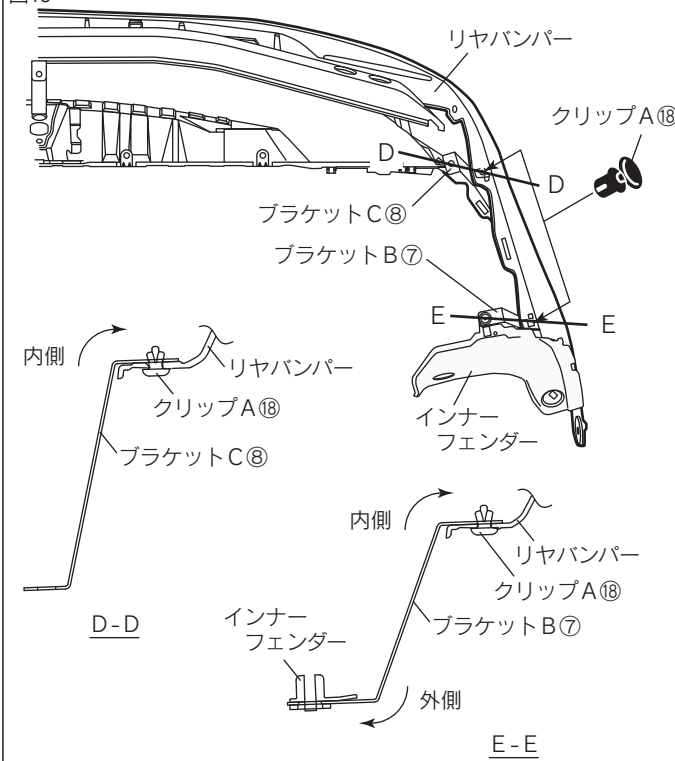
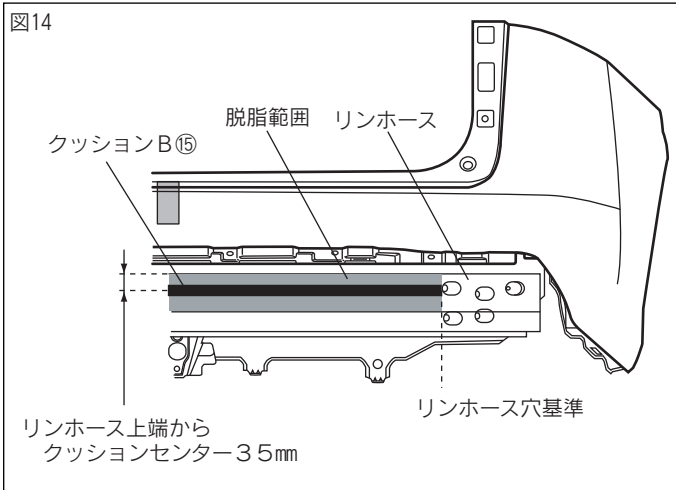


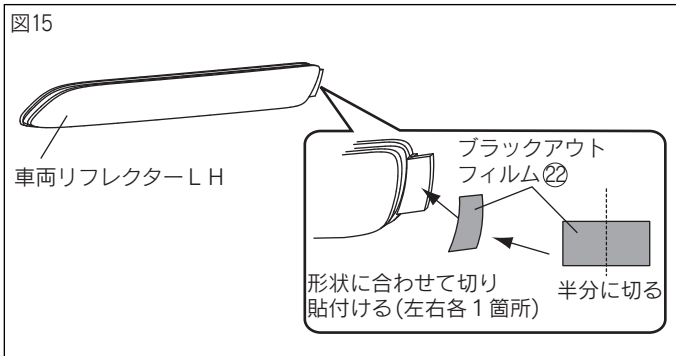
図14



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

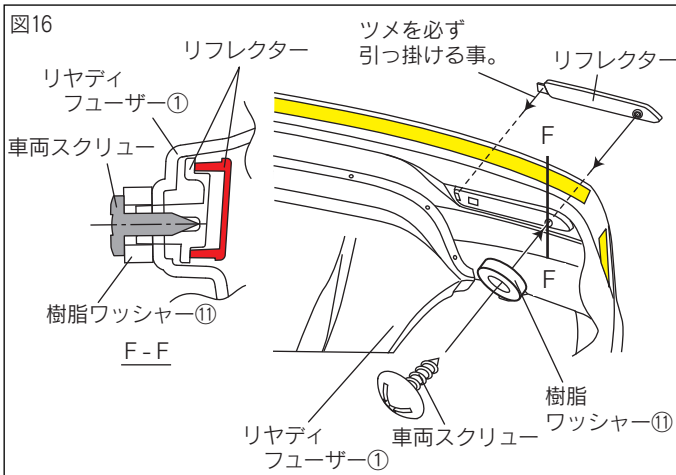
17. 図14のようにリンホースの汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂し、クッションBを貼付ける。
(1箇所)

図15



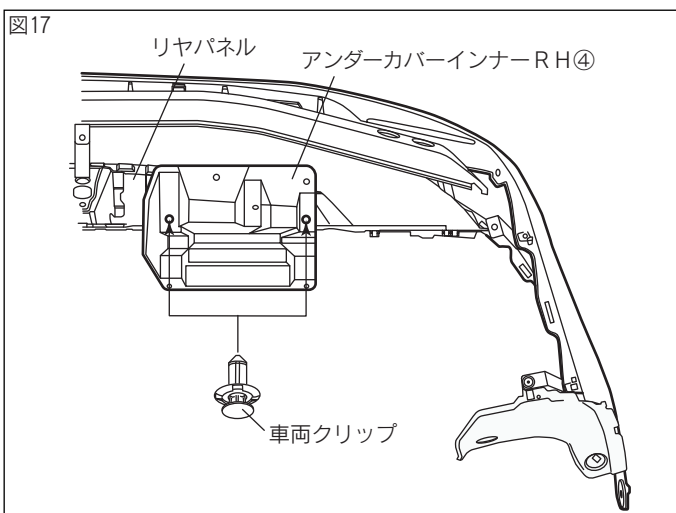
18. 図15のように、車両リフレクター先端形状に切抜いたブラックアウトフィルム⑳をリフレクター裏面に折返しがくるようにを貼付ける。
(左右各1箇所)

図16

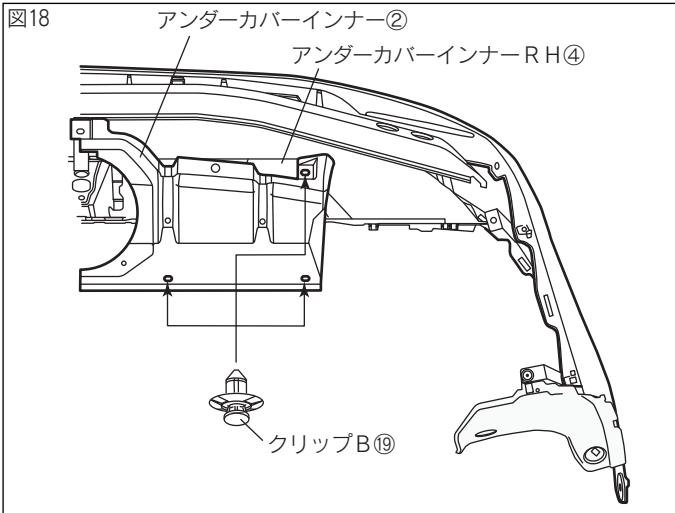


19. 図16のようにリヤディフューザー①のリフレクター取付け部に、樹脂ワッシャー⑪を使いリフレクターを車両スクリューで取付ける。
(左右各1箇所)

図17

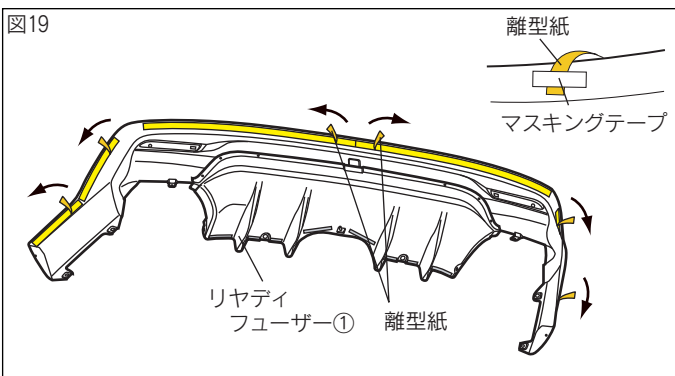


20. 図17のようにリヤパネルにアンダーカバーインナーRH/LH④⑤を合わせ、車両クリップで固定する。
(左右各2箇所)



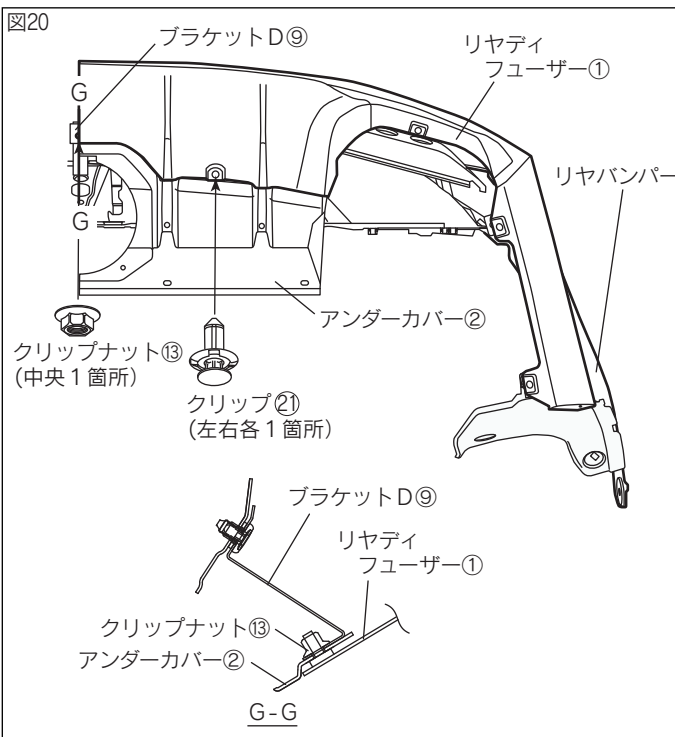
※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

21. 図18のようにアンダーカバーインナーRH／LH④⑤にアンダーカバー②を合わせ、クリップB⑱で固定する。
(左右各3箇所)



22. リヤディフューザー①の両面テープの離型紙を、図19のように矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各3箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。



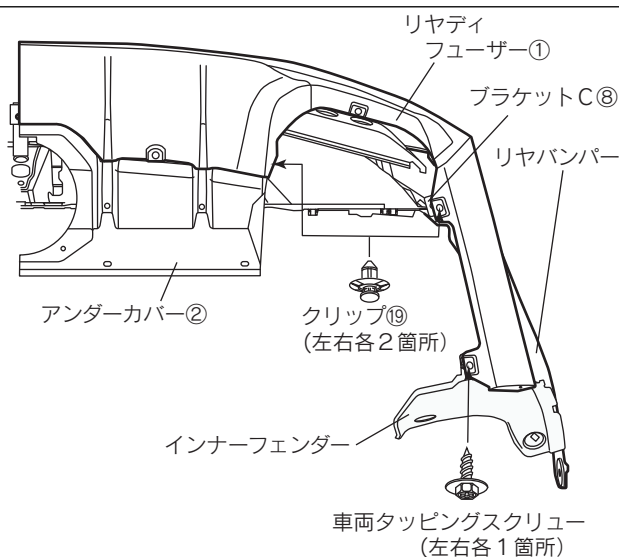
□取付要領

1. 図20のようにリヤバンパーにリヤディフューザー①を合わせ、センター部をブラケットD⑨とクリップナット⑬で固定する。
(中央1箇所)

△注意：ナットクリップ⑬は、いっぱい押込んで90度締めてください。

2. 図20のように下面をアンダーカバー②、アンダーカバーインナーRH／LH④⑤とクリップ㉑で固定する。
(左右各1箇所)

図21



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

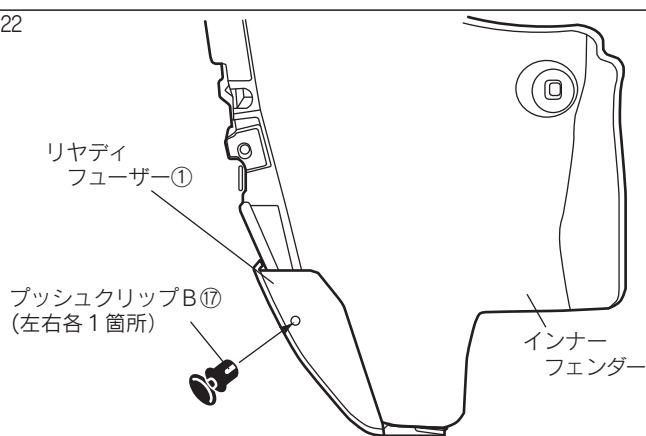
3. 図21のようにマフラー脇アンダーカバー②、下面ブラケットC⑧をクリップ⑨で固定する。

(左右各2箇所)

4. 図21のようにインナーフェンダー、ブラケットB⑦を車両タッピングスクリューで仮締める。

(左右各1箇所)

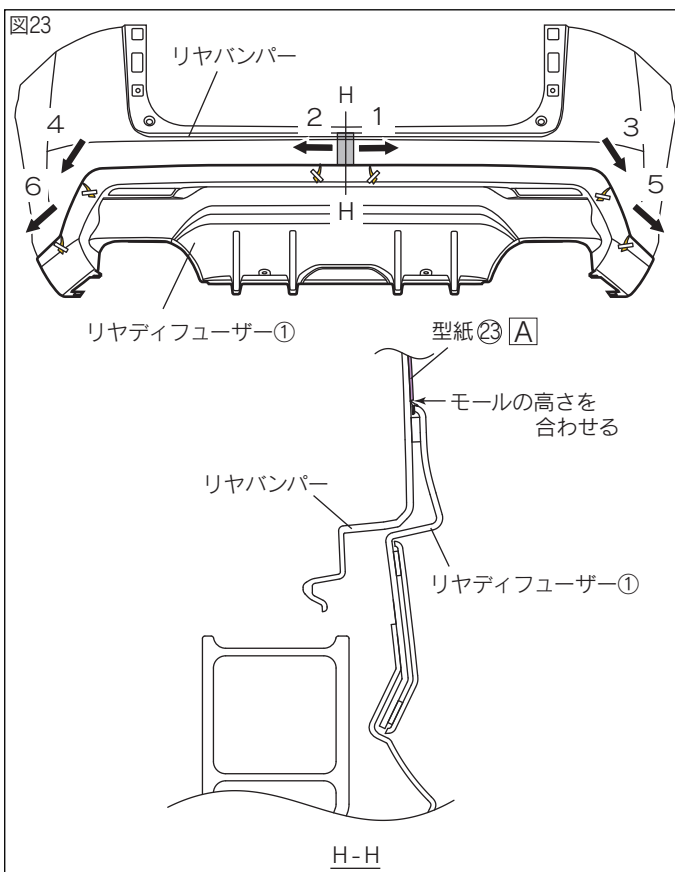
図22



5. 図22のようにホイールハウス部インナーフェンダーに取付けたブラケットA⑥をプッシュクリップB⑦で固定する。

(左右各1箇所)

図23



6. 図23を参考に、リヤディフューザー①の取付け高さを型紙 ② [A] に合わせながら両面テープの離型紙を図の番号順に剥がし貼付け、圧着する。

{49N (5kgf) 以上}
(左右各3箇所)

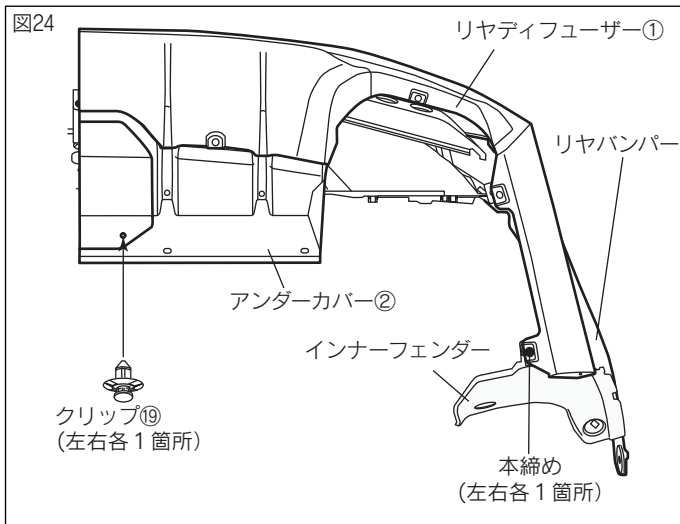
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を図23で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。
圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様になってください。

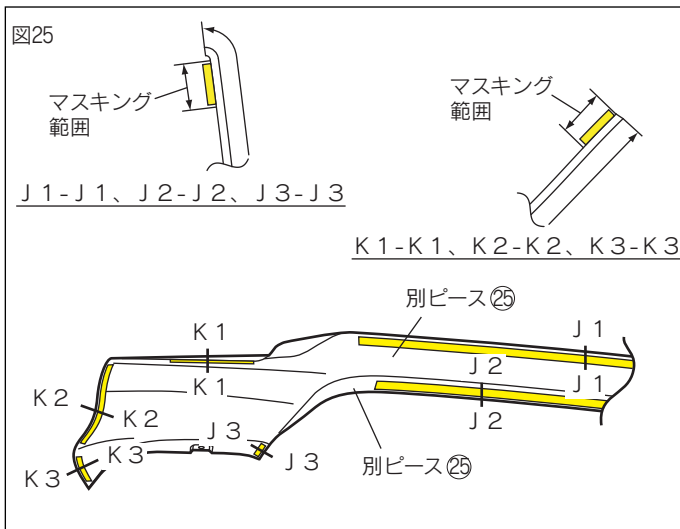
- 図24のように下面最外側部を仮締めしている車両タッピングスクリューを本締めする。
(左右各1箇所)
- 図24のようにアンダーカバー②の下面センターにアンダーカバー別ピース③のツメを差し込み取り付け、クリップB⑱で固定する。
(左右各1箇所)

■取付け完了後の点検・注意事項

- リヤディフューザーがクリップ、タッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
- リヤバンパー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
- 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS313-78002-00)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



□別ピースの塗装

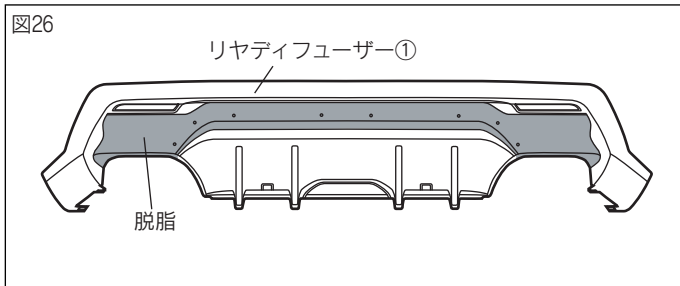
- 図25のように別ピース②⑤を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：両面テープは、絶対に塗装しないでください。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

別ピースの組付けは、取付取扱要領書9ページ以降を参照し、ディフューザー本体を車両に装着後に別ピースを取付けてください。



□別ピースの組付け

- 図26のように別ピース②⑤組付け部の汚れを除去し、IPA又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、10分以上乾燥させてください。

図27

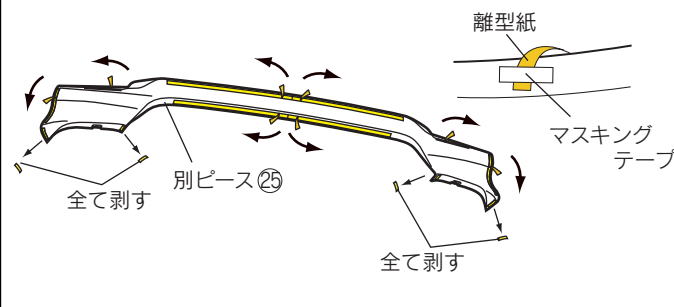


図28

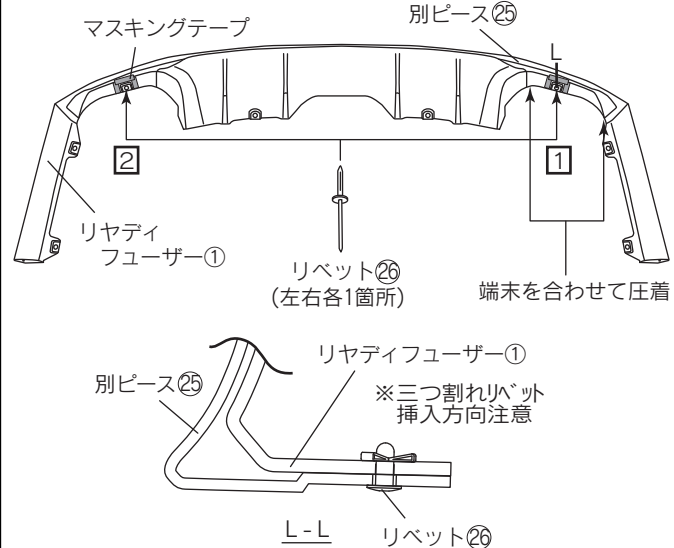
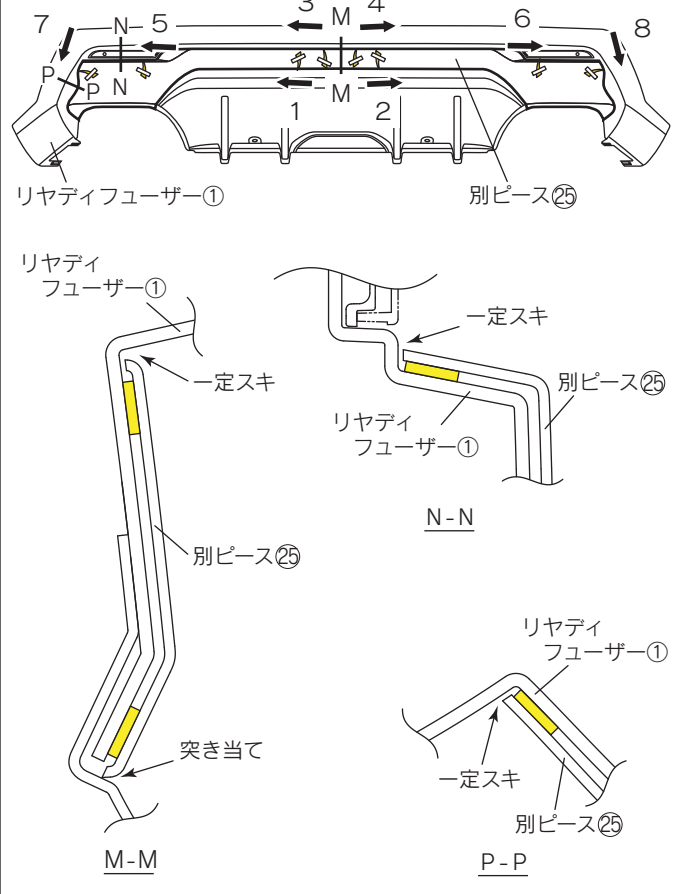


図29



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

2. 別ピース②の両面テープの離型紙を、図27のように中央から約30mm剥がし、マスキングテープ等で表面に貼付ける。
(左右各4箇所)
3. 両面テープが短い部分は離型紙をすべて剥す。
(左右各2箇所)

△注意：指示以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。

4. 別ピース②をリヤディフューザー①にかぶせ、図28のようにリベット②⑥取付け部周辺の別ピース②をマスキングテープ等でマスキングする。
(左右各1箇所)
5. 図28のように別ピース②の端末をリヤディフューザー①に合わせ両面テープを圧着する。
(左右各2箇所)
6. 図28の順番でリベット②⑥を取付ける。
(左右各1箇所)

△注意：マスキングをせずにリベット②⑥の取付けを行うと、リヤディフューザー①及び別ピース②を傷付ける可能性があります。

7. マスキングを剥がす。

8. 図29のようにディフューザー本体①と別ピース②の各部のスキが一定であることを確認し、別ピース②の両面テープの離型紙を図の順番に剥がして貼付け、圧着する。
{49N (5kgf) 以上}
(左右各4箇所)

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を図5で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。